

FDK株式会社

第93回定時株主総会

2022年6月28日

「招集ご通知」P.20～P.27

報告事項

～ 2021年度の振り返り ～

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

ご挨拶

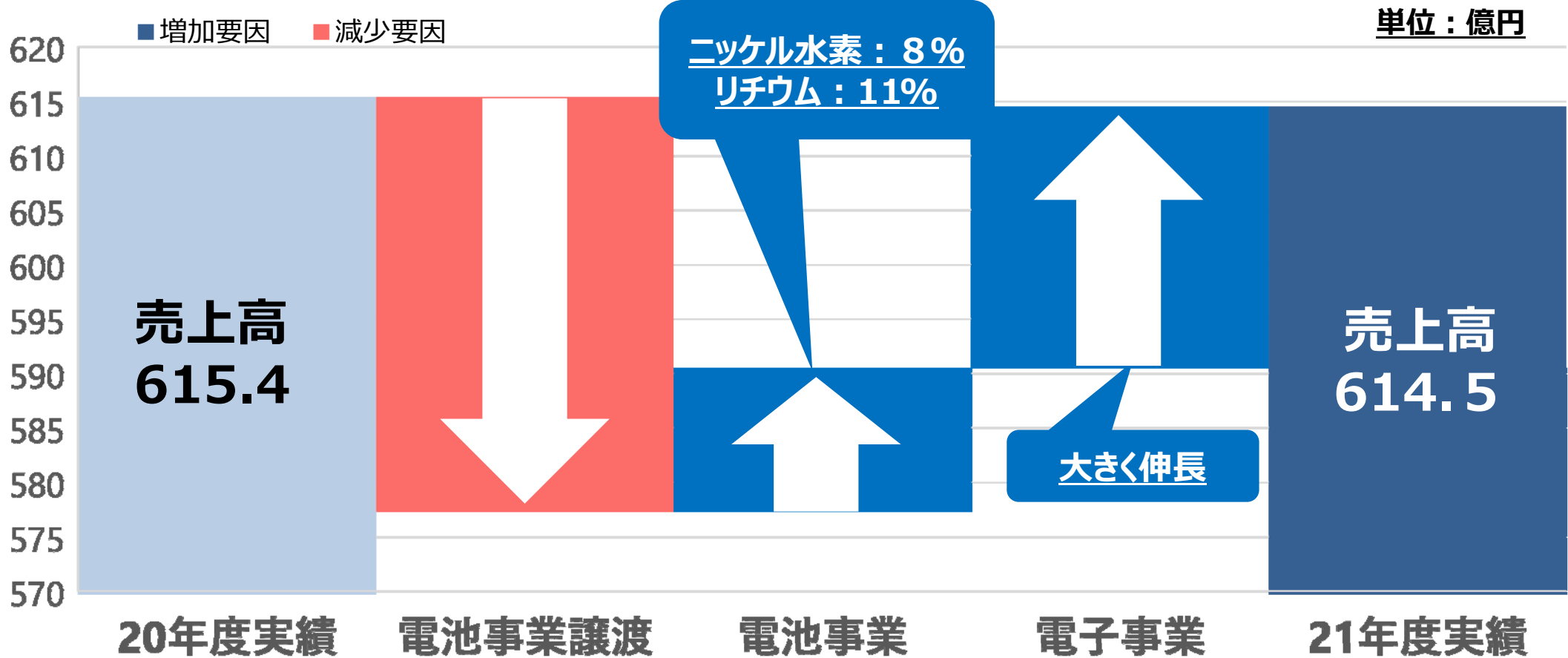
監査報告

報告事項

決議事項

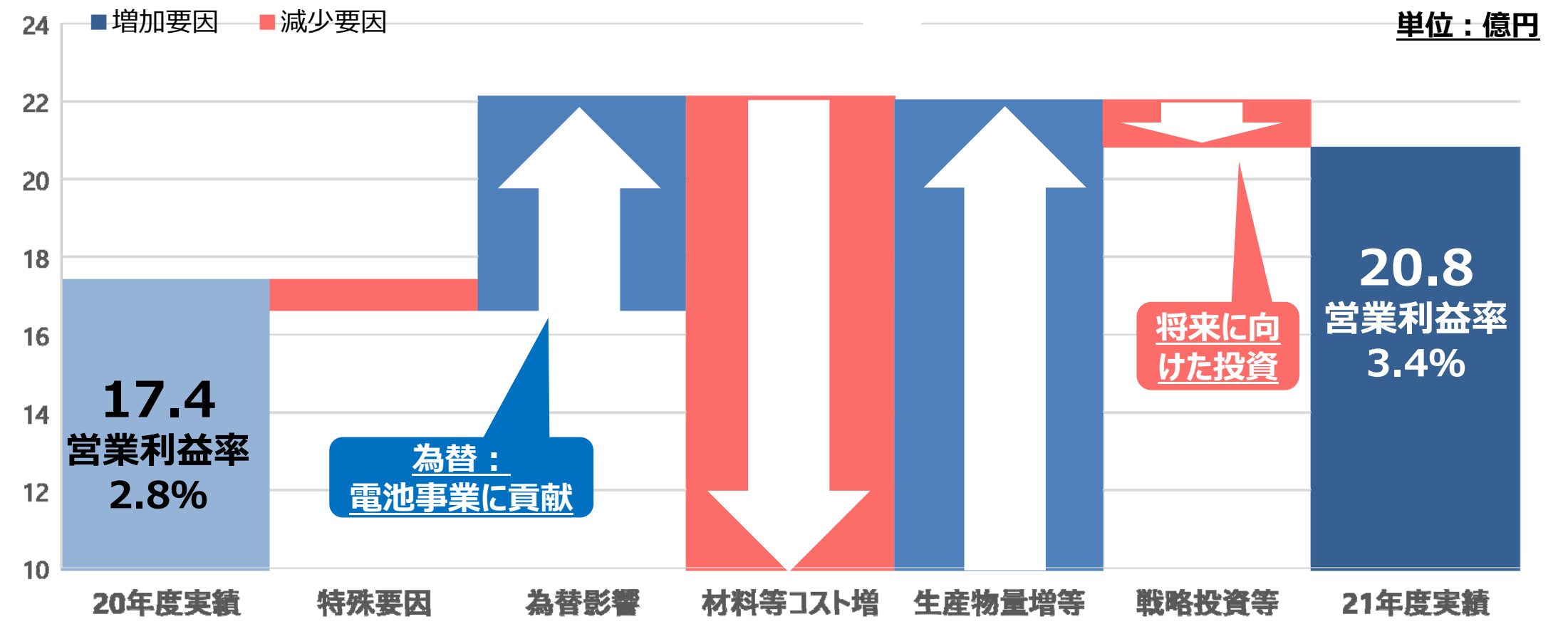
2021年度の振り返り <市場情勢と売上動向>

- ・市場情勢：COVID-19禍による材料費高騰・部材入手難・港湾混雑
- ・売上動向：前期並み（87百万・0.1%減収）、電池事業譲渡の影響を相殺
 - 電池事業：ニッケル水素とリチウムが10%前後伸長、アルカリ市販の不振
 - 電子事業：電子モジュールを中心に15%伸長



2021年度の振り返り <営業利益の動向>

- ・ 通常ビジネス：前期並み
 - 電池事業：アルカリの不振、下期の材料費高騰を受け、減益
 - 電子事業：選択と集中の進捗、COVID-19による需要増などにより、増益
- ・ 為替影響：電池事業に大きく貢献
- ・ 更なる構造改革や次世代電池への投資



2021年度の振り返り <構造改革等>

◆社内制度・構造改革等

- 21年 4月：新人事制度導入・教育制度体系化
- 21年 9月：FDKエコテック(株)の全株式を譲渡

◆将来事業への布石

- 21年 5月：ニッケル亜鉛電池サンプル出荷
- 21年11月：全固体電池“SoLiCell®” 特定顧客向け基板実装モジュールのサンプル出荷
- 22年 1月：パワーマネジメントソリューションのビジネス具現化に向けた研究開始
- 22年 3月：水素/空気二次電池の環境省委託研究事業を完了

◆その他のトピックス

- 21年 6月：ニッケル水素電池 累計グローバル出荷20億個達成
- 22年 2月：Japio「脱炭素特許インデックスによる企業ランキング」で19位、同「SDGs特許インデックス（電子部品・デバイス・電子回路製造業）」で11位
- 22年 3月：ウクライナ情勢に関する人道支援の実施

2022年度以降の取り組み ～ 中期事業計画「R1」の進捗 ～

ご挨拶	監査報告	報告事項	決議事項
-----	------	------	------

FDKグループは、
Smart Energy Partnerとして、
先進技術を結集し、
お客様に電気エネルギーを
安心して効率的に活用いただき、
持続可能な社会の実現と発展に貢献します

あるべき姿

Visionが
達成された
と言える状態

誰に：人々の暮らしと社会を支える企業と個々のユーザーに
何を：クリーン且つ、安全な電気エネルギーを安定的に活用できる
オファリングをお届けする
(電池/エンジニアリング, 次世代電池, パワーマネジメントソリューション)
いつ：2029年 (10年後)
目標：売上 800億円 (うち新事業 30%)/営業利益率 7.5%

R1:20~22年度

FDKグループは、Visionとあるべき姿の実現に向かって、2022年度までに

- 1) 現行ビジネスの安定化と利益ある成長を確立し、
- 2) 次世代へつながる新事業を積極的に開拓し、
- 3) 各自が自律的にお客様に満足いただける努力を怠らない企業文化の醸成に努めます

現行ビジネスの安定化と利益ある成長の確立

◆ ニッケル水素電池：成長の加速

- ✓ 車載（eCall）以外の5本柱（家電・モビリティ・社会インフラ・バックアップ）開拓

◆ リチウム電池：シン・リチウムアイデンティティ確立による事業安定化

- ✓ 鷺津工場ラインの鳥取工場への統合（6月）、製造ライン拡張整備による効率化追求

◆ アルカリ電池：市販ビジネスの回復

- ✓ 新製品投入による競争力強化とブランド再構築、チャネル戦略強化

◆ 電子事業：パワーマネジメントソリューションとしての再定義

- ✓ 調達難・材料費高・円安に対するレジリエンス強化、新規ビジネス開拓、他部門連携

◆ エンジニアリング：業績回復とものづくり技術の内製活用

- ✓ 営業・提案力の強化による新分野の設備商談獲得加速

次世代へつながる新事業の積極的開拓

◆ **全固体電池**：顧客仕様に合わせた開発の促進と品質改善

- ✓ 顧客要求に合わせた仕様確定と量産品質の安定化
- ✓ 電子技術・外部パートナーとの連携による製品ラインアップの拡充

◆ **次世代電池**：開発推進およびビジネスプラン策定

- ✓ ニッケル亜鉛電池：特定顧客との仕様確立、事業プラン策定の検討
- ✓ 水素／空気二次電池：コスト競争力改善に向けた取り組み

◆ **パワーマネジメントソリューション**：電子技術を活用した開発

- ✓ eMaaS（エナジーマネジメントアズアサービス）に向けた要素技術開発
- ✓ 特定プロジェクトの推進

各自が自律的にお客様に満足いただける 努力を怠らない企業文化の醸成

- ◆ **ガバナンス強化**：スタンダード市場上場会社としての質の向上
 - ✓ 指名・報酬委員会の運営、投資プロセスの強化
- ◆ **人事制度**：さらなる従業員満足度向上
 - ✓ タレントマネジメントの強化（人材情報可視化システムの導入）
- ◆ **人材育成**：教育制度拡充による人材育成と強化
 - ✓ 新規教育プログラムの導入（語学留学・新規ビジネス開拓・外部プログラム参画等）
- ◆ **サステナビリティ強化**：SDGs・ESG時代に即した価値観の醸成
 - ✓ サステナブル推進委員会による包括的取り組み・マテリアリティの明確化

2022年度の業績予想について

◆売上高

- 前期比+2.5%の増収
ニッケル水素電池・リチウム電池の伸長が増収を牽引

◆営業利益

- 外的要因：材料費高騰・為替影響などで約11億円弱のマイナス影響
- 内的要因：通常ビジネスを2億円（+10%）改善

◆事業リスク

- 材料費の高騰：先物予約やセカンダリーソース、材料変更、値上げにて対応
- 機構部品や電子部品の供給不足：長期手配や代替品調達を継続

単位：億円	2021年度実績 (a)	2022年度予想 (b)	増減額 (b-a)	増減率 (%)
売上高	614.5	630.0	+15.5	+2.5%
営業利益	+20.8	+12.0	-8.8	-42.4%
(売上高比)	+3.4%	+1.9%	-1.5pt	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	+7.4	+7.0	-0.4	-5.5%

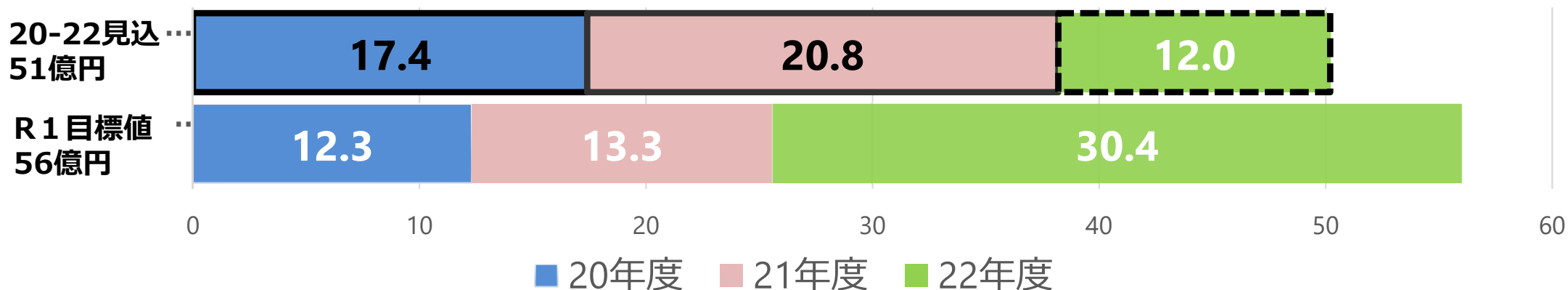
中期事業計画「R1」経営目標に向けて：仕上げと仕込み



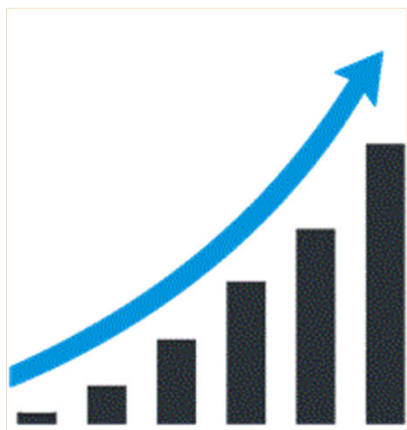
【単位：億円】

	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 見込	中期事業計画「R1」 2022年度目標
連結売上高	615.4	614.5	630.0	600.0
営業利益率	2.8%	3.2%	1.9%	5.1%
ROIC (投下資本利益率)	5.9%	6.4%	3.8%	9.9%
新事業への投資等 ※下段の () 内は累計額	15.0	6.7 (21.7)	8.9 (30.7)	55.0 (3年間)

R1 営業利益の進捗と見込み【単位：億円】



株主様への約束



従業員に対する責任



お客様の満足



and
(全てに
応える)

社会への貢献



FDK

進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために